

# 日本特殊陶業 株式会社

社会学部人間心理学科

3年 高橋 飛翔

## 1. 実習企業（団体）の概要

世界シェアNo.1を誇る「NGK」ブランドのスパークプラグや「NTK」ブランドのニューセラミックなどで、世界各国、各地域に確固たる地位を築いているメーカーである。また、1959年にブラジルでの海外法人設立を皮切りに、北米、アジア、欧州、中東、アフリカと世界中に広がるネットワークを構築してきている。東証1部上場。

- ・設立 1936年10月26日 ・資本金 478億6,900万円
- ・売上高 3,832億7,200万円(連結2016年3月期)
- ・従業員数 14,524人(連結2016年3月現在)
- ・所在地 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14-18
- ・代表取締役会長兼社長 尾堂 真一

## 2. 実習内容

ロボット自動車制作ワーク、BtoBビジネスにおけるサプライヤーの役割を知る。

## 3. 実習の成果

日特は独立系メーカーであるためにいろいろな企業と取引ができ、さらにその生み出している製品は様々な分野で基幹となる製品のために世界シェアNo.1の製品が多く、なおかつフィールドはグローバル、特に北米や欧州がメインで拠点も北米や欧州以外に多く海外へ出向している人数は約182名、出張では1000人を超す人が海外へと出ていることを知った。また、ダイバーシティーを重視するようにしていることから若い人材や女性にもチャンスがあることを知った。紙でできたロボットの制作では、材料の値段、予算が指定され、自由設計ではなかったことからものづくりにおける収益性や性能、コストを考えた材料選定の難しさやものづくりにおけるビジネスを知ることができた。また、グループの一人一人が各部品メーカーとなって作成したために納期が遅れると全体に影響が出てしまう事を身をもって知ることができただけでなく部品メーカーの技術力や精度によって最終的な完成品の価値に大きな影響が出ることを知ることができた。作成前に性能や収益性などすでに設けられた選択肢の中から重視する点を選んだが、思い通りにその製品のコア部品、売り出したい部分のクオリティを高めることができず、ものづくり全体に対する難しさを知ることができた。

## 4. 実習の感想

実習中は文系理系が半々の参加者のグループに所属できたために積極的に話しかけ、他校のゼミの状況や理系ならではの苦労、インターンシップの参加状況など様々な情報交換をすることができた。また、今回は説明だけではなくロボット作成という実習を含んだインターンシップで楽しく過ごすことができた。実習では部品一つ換えることで価値を変えられるということをも身をもって知り、このことは技術系だけでなくグループワークなどチームでの活動すべてにおいて言えることだと思った。また、海外に多く出向している企業であること知り、国内で働きたい私に合うかどうかもう少し考えてから志望しようと思った。しかし、引き続き部品メーカーにも目を向け、車業界で自分が目指している“自身の持つ知識で人を助ける”という軸に合った企業を探していきたいと思った。ダイバーシティーを重視しているという事だったが、事前にROEや自己資本比率の分析をしたところ前年度比で低下しているため、本当に若い社員が先頭に立ってやりたいことができそうかという事に関しては少し疑問が残ってしまった。今回は学生には積極的に話しかけることができたものの外的な要因にならな

いかと恐れるあまり、肝心の企業の方への質問が億劫になってしまっていたために疑問を解消することができなかった。これによつて的を射た質問をすることも大事だがまず質問してみる事も大切だと感じ、やはり場数を踏まなくては的を射た質問とその質問の量を増やすことができないと感じたために些細なことでも1度は質問する目標は必要だと感じた。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	9月26日(月)	企業理解、ロボット自動車制作ワーク